

## 第99回安来市議会定例会3月定例会議

### 文教福祉委員会 委員長報告

令和 3年 3月 1日

文教福祉委員長報告を行います。

去る2月1日に開会された2月緊急会議において、本委員会に付託された陳情について、同2月1日に委員会を開催し審査を行いましたので、その結果と経過について報告いたします。

まず審査の結果をご報告いたします。

陳情第2号「島根県が来年度から実施を予定している少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書」を県に提出すること求める陳情書につきましては、挙手少数により不採択とすべきものと決しました。

つづいて主な審査の経過についてご報告いたします。

委員より「学校は新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えていない中で新年度を迎える。そのような状況でさらに密となる環境を作ってはいけない」という意見や「子どものためには、あえてクラスの人数を増やすよりも、先生がきちんと子どもに目が行き届き、一人一人の個性を伸ばせるような教育の方が良い」という意見がありました。一方では「県も同様の理由でできる限りの範囲で据え置きの方角を示している。その上でこの意見書の内容には賛同できない」という意見や「国基準が小学校全学年で学級規模の上限を35人に引き下げられる見通しの中、島根県としては教員の確保を含め、教育に充てる財源が大幅に減ってしまうことが危惧される。これ以上反対するのは疑問である」また「コロナについて今後ワクチンが導入され収束方向に向かうと思われる今の段階で、この意見書は提出すべきではない」といった意見もありました。

以上、文教福祉委員長報告と致します。